

Kitanakagusuku Wedding

Vol.1





Kitanakagusuku Wedding

at Nakamura House

北中城村とは沖縄県の中部地区に位置し、自然と都会、由緒正しい文化が混在する街です。そんな北中城村で行うウエディングはビーチやリゾートホテルのイメージが強いリゾートウェディングとは一味違った体験することができます。

そんな北中城ウエディング第一弾は国指定重要文化財にも指定されている中村家住宅。沖縄らしい赤瓦の建物だけでなく、周囲を緑が囲っているため挙式だけでなく、ウェディングフォトにもおすすめのスポットです。



アンバランスさが逆にいい。

① 邸庭三番庭にて新婦さまのソロショット。伝統的な沖縄の建物とウエディングドレスのアンバランスさがまたよかったです。② 母屋敷側でのツーショット。③ 中村家住宅裏手にある石垣前。自然に囲まれた中村家住宅だからこそ、赤瓦屋根だけでなく、自然の緑の中で撮影できるスポットも。④ 門の正面突き当りにある石積みの階段のヒンブン前。ヒンブンが中と外の仕切りになるためゲストに見られることなく入場ができます。⑤ 式典を母屋敷前の石垣の中庭で行い、式典中はおふたりとゲストの完全プライベート空間になります。少人数で行うためゲストとの距離も近く、沖縄の文化を感じながらアットホームな時間を過ごせます。



国指定重要文化財 中村家住宅 Nakamura House

中村家住宅は周囲には多く、自然と調和した国指定重要文化財に指定されている歴史的沖縄の住居建築の特徴をすべて兼ね備えている建物です。

沖縄の文化を感じながら沖縄らしい赤瓦の建物や石垣、自然が調和した中村家住宅でのウエディングは唯一無二のウエディングになること間違いなし！



愛、感動。

A ファーストミート。ご新郎さまを見たとき思わず新郎さまが涙ぐみ、手を伸ばして「きわいだよ、ありがとう」
B 「子音でに喜をおろす」という意味もある新郎お母様による入場前のペールダウン。後ろで足守る新郎お父様のお顔もやしさと愛しさに満ち溢れています。新郎様が入場したときはゲストから思わず「きれい!」の声が漏れていきました。

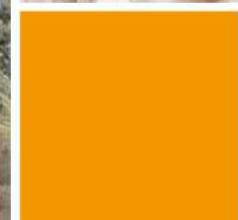


沖縄の伝統 × 現代の融合 幸せを運ぶ、 ぶくぶく茶。

⑥ 式典の中ではぞくぶく茶のセレモニーを。ぞくぶく茶とは沖縄の伝統的な飲み物で、お茶を飲んだ際に鼻の上についた泡をお互いに見て笑いあえることから福昌茶（ぞくぶくちゃ）とも言われており、「幸せを運ぶお茶」とされています。沖縄の方にとっても珍しく、ゲストも興味津々。

⑦ 参加したゲストにおふたりが結婚を誓い、オリジナルの木を描って作った音楽書を披露。ゲストの皆さんも聴入っていました。

⑧ おふたりの愛液がリングガールとして結婚指輪を持ち、無理におふたりのもとへたどり着いた時の様子です。その瞬間どこからともなく温かい拍手が生まれました。



Wedding Photo + Experience



大切な時間を残すウエディングフォト+普段なかなかできない体験。

新しいウエディングフォトのカタチをご提案します。

大切な時間を残しつつ、新たな沖縄の魅力を伝えるため
県内の素敵な想いでつくられた作品を mieme がセレクト。

この機会に、非日常的な体験をしてみませんか？

ウエディングフォト料金+お好きな体験をお選びいただけるプランです。

体験内容、金額についてはお問い合わせください。

仁陶器工房

伊達政仁 | Masahito Date

東京の都立高校を卒業して、大学進学を目指していましたが、ものづくりの仕事をしたいと思う気持ちが強くなり、陶芸を始めました。栃木県の益子町で4年修行し、沖縄の壺屋焼きの修行を6年しました。30歳の時北中城村大城で、独立して工房を持ちました。その後同じ村内の荻道に引っ越し、工房を構えています。

モットーは“みんなが笑顔になるような、器作り”
そのためには、常に自分がハッピーでなければいけないと心掛けています。体験は手練りのシーサーやろくろをまわして好きなカップなどが作れます♪

ガラス工房 ブンタロウ

壺内文太 | Bunta Tsubouchi

1985年京都府舞鶴市生まれ、岡山県倉敷市育ち。
琉球大学工学部環境建設工学科、秋田公立美術工芸短期大学
ガラスコースを卒業後、「美らガラス工房」「海風工房」
パラオ共和国「リサイクルセンター内ガラス工房」を立ち上げ
2017年北中城村安谷屋にて「glass gallery hub」を開業。
2019年「ガラス工房ブンタロウ」に屋号を変更。
想い入れのあるガラスや、好きなお酒の瓶を原材料として
作品を制作し、再びカタチを変えて手元に戻す。想いをのせた
ガラスを再生する活動をしています。
体験はガラスに文字やイラストを掘ったり、すりガラスが作
れます♪

Okinawa Plants Artist

ちはる | Chiharu

2021年にユネスコ世界自然遺産登録された亜熱帯照葉樹林が
織りなす圧倒的な大自然である“やんばる”に自生する植物を
使ってみんなの想いをカタチにし、その魅力を存分に伝えるブ
ランツアーティスト。

植物と私がチームとなり、一緒に空間を創り、整え、飾り、
夢をかなえる活動をしています。

やんばるの自生する植物が私にエネルギーを送ってくれるよう
に私も作品を通して、皆さんにも感じてもらえたたらと思って
います。この体験を通して、皆さんに実際に植物に触れてもら
たいです！体験はブーゲンビレアを使ったブーケが作れます♪



❀お互い気になることを聞いてみた。❀

2023年から本格的にスタートした“北中城ウエディング”

おふたりにとって大切な結婚式を始める前に、

どんな会社なのか、どんな人たちがいるのか皆さん気になりますよね…?

北中城村観光協会とウエディングサロン mieme (ミーミィ) で

お互い今まで聞けなかったこと、改めて気になることを聞いてみました。

北中城村観光協会からはWEB/ウェルネス担当の爾霸音さん。

mieme からは代表でタレントの糸数美樹でお届けします！

実は…元イルカのお姉さんです！

糸数) 織霸さん、まずはどこのご出身ですか？

織霸) 出身は長崎の東彼杵(ひがしそのぎ)という場所です！

糸数) 沖縄にたどり着くまではどういう歴史が…？

織霸) 高校卒業したら長崎から出ようと思ったら、やりたかったことがあったので専門学校で神戸に移り、希望していた就職先に決まり、福岡に行きました。その時に今のお主人(沖縄出身)と出会って沖縄の方つて“沖縄に戻りたい、やっばり最後は沖縄”みたいなのがあって、「沖縄に帰りたいんだ」と言われて「あ、うん、そっか」って感じで次々の移住でした(笑)

糸数) ちなみにやりたかったことってなんだったんですか??

織霸) “イルカのお姫さんになる！”って決めていました。

糸数) !?

織霸) 突然、あっ！イルカのショーがしたい！みたいな。

糸数) もともと憧れていたとかでもなく??

織霸) そうではなく、あっ！いるか！って(笑)

糸数) すごい直感力！そして3児の母なんですよね??

織霸) そうです、3人の母です。

糸数) 私1人だけ毎日白目むいてるから超尊敬します！！！

織霸) 無法地帯です(笑)1人の時はすぐく肩肘張って頭張りすぎちゃうんです。それで私がびりつくとやっぱり主人も家庭の雰囲気も悪くなったりして、お互い疲れるなっていうのがあって「健康に生きていいやいい」と半刻に気持ちが変わったのが(自分の中)大きかったです。

糸数) 先輩！勉強になります！(笑)



北中城村観光協会ってどんなところ？

糸数) 北中城村観光協会はどんなお仕事なんですか？

織霸) 観光協会では“鏡しまれ、頬られ、一目置かれる観光協会になる”を目指し掲げ、北中城村に住んでいる方、お仕事をしている方がまずは幸せになつてほしいというところをすごく大切にしています。

北中城村の魅力でもある人と繋がりを活かして、まだ繋がっていない事業者さん同士を繋げたり、皆さんと北中城村を繋げるような点と点をどうやったら結ぶかというお仕事をしています。

糸数) 私たちもいつもサポートしていただいている、ありがとうございます！

織霸) mieme さんは体験プランを北中城村の事業者さんとタッグを組んでくれて、どちらかを知っている人がまたもう片方を知るという繋がっていく感じすごい嬉しいんです。

糸数) 今後もまだ出会っていないような方々とか、まだ形になっていないような出会いが、結んでいろいろ影らんでいたらいいですね。そして北中城ウエディングを通して、村民はじめ、村外、県外、海外にも魅力を発信していけたらいいですね。

織霸) うん。もうほんとその通りです！言いたいことすべてまとめていただきました(笑)

観光協会は気軽に来ていいんです！

糸数) 北中城村観光協会ってライカムの中に入っていて、立地完璧じゃないですか。

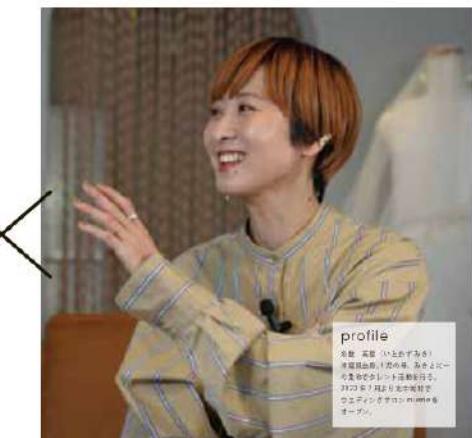
私たちはどう利用したらいいですか？

織霸) 多いのは道室内や観光スポットの問い合わせです。あとは、夏になると涼しいからって子どもが入ってきたり(笑) ゆんたくしに来る人も(笑)

糸数) いいですね！手土産とかランチとか近くにおすすめありますか？とかでもいいですか？

織霸) 大丈夫です！パンフレットもあるのでそれを出しながらお伝えしていますよ

糸数) 北中城村観光協会は皆さん個性があって面白いので、ぜひ皆さんも遊びに行ってみてくださいね。わたしも行きますね(笑)



北中城村の魅力は“人とのつながり”

糸数) 織霸さんから見た北中城村の魅力は？

織霸) 一番は人との距離とか、コミュニケーション、そういう繋がりの部分だと思います。洪々移住したことでもあってはじめ戸惑った部分もあるんですけど(笑)

糸数) 気を付けていたことあるんですか？

織霸) まずはその人たちを知ることですかね。いろんな人と会って話してみてください。そしたら距離感が近すぎず、遠すぎず、でも気にかけてくれて。心地いい距離感で親戚かな？って気持ちにさせてくれます(笑)

糸数) 私たちも北中城村にサロンを構えて、散歩中の方やお隣さん含めお声かけしていただいて、そこからまた別のひととお話てきて。どんどん味方が増えていくというか、仲間が増えていくみたいな感じが北中城村ならではだと感じました！

新しいウエディングを北中城村から

糸数) なぜ北中城村でウエディングを始めようと？

織霸) 北中城村は国指定文化財があつたり、自然豊かで街並みもきれいなので、そこも見るだけじゃなくて、もっと活用していくよというところから始まりました。

そこにmieme がサロンを(北中城村に)構えるという話を聞いて、これはもう進めていきましょう！と。

糸数) 確かに、北中城村は都会と自然とのいいバランスが取れている街ですよね。

今までのリゾートウエディングのイメージとは違つた柄にとらわれないオリジナルウエディングのカタチを我々と他の事業者さんでタッグを組み、中村家住宅を皮切りに、どんどん広げていきたいですね。

織霸) この前「中村家住宅式の記事を見て、ちょっと気になっているんですけど」ってお問い合わせがきた感動は忘れないです！

mieme の魅力は“細かいところの温かさ”

織霸) 私は沖縄で結婚式をすることになり、ただ妊娠中で福岡にいてなかなか沖縄にも行けずで、なんかもっと自分で色々やりたかったなっていう想いは、まだ片隅には残ってて。

だからmieme のコンセプトでもある“もっと、わがまま”っていうところを何かカタチにできるって、いや~本当にやって感じます。

糸数) コンセプトの基盤として、人の幸せを喜ぶ社会にしたいんです！そのためにはまず、自分が幸せになりましたと、そしてそれが人にも伝わって連鎖を生んで、その輪を広げていかなければと思ってます。

糸数) わたしもタレントとして結婚式の司会を通して、いろんなカップルをサポートさせてもらう中で、もっと選択肢があつてもいいのでは？今ある枠を全部とぱつらってもいいんじゃないか、やりたいことやろうよ！っていうね。

織霸) ドレスの生地と蝶ネクタイがおそろいでとか、さらには子供用のドレスも(生地が)お揃いがあつたり。新郎新婦はもちろんその周りのところまですごく気遣いを感じました。mieme さんの細かい所のあたたかさがあつてこそこの夫婦にしかできない結婚式が実現できるんだなっていうのが一緒に仕事をさせてもらって一番感じました。

糸数) 嬉しいです～～～！ウエディングって人生においてすごく大切な節目だと思っています。意外と小さいことかもしれないけどずっと心に残っていたりするんですよ。

その心残りがないようにお手伝いできたらなと思っています。



北中城村観光協会
Nishidaitō Town Tourism Association



Instagram

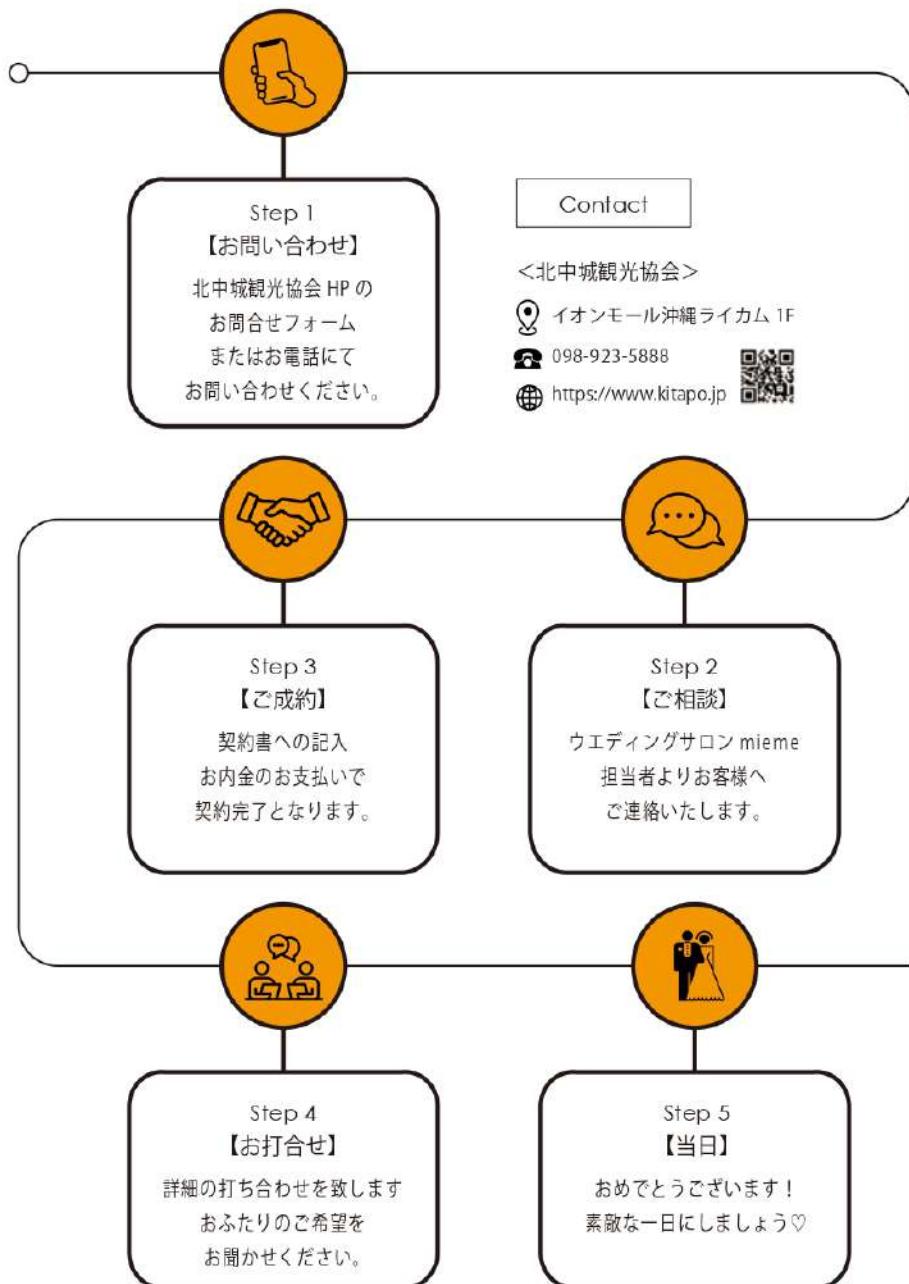


mieme

<https://litlink/mieme>



How to process



ひとりひとりに個性があるように結婚式にもそれぞれカタチがあるもの

今まで当たり前だと思っていた場所やスタイルを忘れ、

“そもそも何のために結婚式をするのか？”

“ふたりらしいウエディングはなんなのか？”

“ふたりでどんな未来を築いていきたいのか？”

そこから一緒に考え、おふたりらしいウエディングを創っていきましょう。

おふたりがどのような軌跡をたどってきたのか

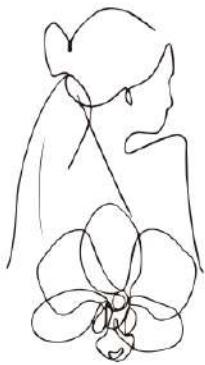
大切にしているもの、結婚式でやりたいこと

予算感も含めてまずはおふたりの話をたくさん聞かせて下さい。

まだ知られていない沖縄の魅力もあわせてご提案致します。

特別な日だからこそ”もっと、わがままに”なりませんか？

mieme



KITANAKAGUSUKU
WEDDING